

## 教育未来創造会議 論点整理【案】

## 基本的考え方

- ・日本の社会と個人の未来は教育にある。教育のあり方を創造することは、教育による未来の個人の幸せ、社会の未来の豊かさの創造につながる。
- ・様々な課題に向き合い、新たな価値を創造しながら豊かな未来を切り拓いていくため、一人一人の生産性を高め、生きていく力、柔軟な知を育むことが必要。
- ・働くことと学ぶことのシームレスな連携ができる生涯能力開発社会、生涯学習社会の実現に向けて取り組む。
- ・人への投資を通じた「成長と分配の好循環」を教育・人材育成においても実現し、「新しい資本主義」の実現に資する。

## ありたい社会像

- ◎多様な人材が能力を最大限発揮でき、適切に評価される社会の実現  
一人一人の多様な幸せと社会全体の豊かさ（ウェルビーイング）を実現。ジェンダーギャップ指数や貧困・社会的分断の改善、グローバル化進展
- ◎社会課題への対応、SDGsへの貢献  
国民全体のデジタルリテラシーの向上。地球規模の課題への対応
- ◎生産性の向上と産業経済の活性化  
労働生産性の向上を通じた一人一人の稼ぐ力の強化による我が国全体の産業経済の発展、地域産業・経済の活性化
- ◎全世代学習社会の構築  
誰もが生涯にわたって、意欲があれば学び、スキルを身につけることができる全世代学習社会の実現



## 目指したい人材育成

## ◎未来を支える人材像

好きなことにのめり込んで高い専門性や技術力を身に付け、自分自身で課題を設定して、考えを深く掘り下げ、多様な人とコミュニケーションをとりながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会課題の解決を図っていく人材

## &lt;必要な資質・能力&gt;

基礎学力・素質/リテラシー/論理的思考力・規範的判断力/課題発見・解決能力/未来社会を構想・設計する力/高度専門職に必要な知識・能力

## ◎今後特に重視する人材育成の視点 ⇒ 産学官が目指すべき人材育成の大きな絵姿の提示

- ・文理の壁を超えた普遍的知識・能力を備えた人材育成
- ・デジタル、人工知能、グリーン（脱炭素化など）、農業、観光など科  
学技術や地域振興の重点分野をけん引する高度専門人材の育成
- ・理工農系を専攻する女性の増加
- ・高い付加価値を生み出す修士・博士人材の増加
- ・すべての子供が努力する意思があれば学ぶことができる環境整備
- ・一生涯学び続ける意識、学びのモチベーションの涵養
- ・年齢、性別、地域等にかかわらず誰もが学び活躍できる環境整備
- ・幼児期・義務教育段階から企業内までを通じた人材育成・教育への投資の強化

## 1. 未来を支える人材を育む大学等の機能強化

## (1) 我が国の成長に向けた大学等の再編促進と産学官連携の強化

- ①デジタル・グリーン等重点分野（STEM等）の学部等への再編・統合・拡充を促進する仕組み構築（再編に向けた初期投資、開設年度からの継続的な運営への支援、定員未充足大学への私学助成の厳格化、撤退等も含めた経営指導の徹底、専任教員数や校地・校舎の面積基準、標準設置経費の見直し等）
- ②高専、専門学校、大学校、専門高校の機能強化  
（高専や専攻科、専門学校の充実、高専への改編等も視野に入れた専門高校充実等）
- ③企業、自治体による大学の教育プログラム策定等への参画促進
- ④企業における人材投資に係る開示の充実等

## (2) 学部・大学院を通じた文理横断教育の推進と卒業後の人材受け入れ強化

- ①文理横断による総合知創出  
（大学入学者選抜の出題科目見直しの推進、ダブルメジャー等促進、レイトスペシャライゼーションの推進等）
- ②大学院教育の強化
- ③博士課程学生向けジョブ型研究インターンシップの検証
- ④企業や官公庁における博士人材の採用・任用強化等

## (3) 理工農系をはじめとした女性の活躍推進

- ①理工農系を学ぶ女性増など女性活躍プログラムの強化  
（大学入試でのポジティブアクションの推進、女性の在籍・登用状況などの情報開示の促進等）
- ②女子中高生の理系選択者の増加に向けた取組の推進

## (4) グローバル人材の育成強化

- ①コロナ禍で停滞した国際的な学生交流の再構築
- ②産学官をあげてのグローバル人材育成
- ③高度外国人材の育成・活用強化

## (5) デジタル技術を駆使したハイブリッド型教育の転換

- ①知識と知恵を得るハイブリッド型教育への転換促進等（オンライン教育の規制緩和特例の創設）
- ②オンラインを活用した大学間連携促進
- ③大学のDX促進

## (6) 大学法人のガバナンス強化

- ①社会のニーズを踏まえた大学法人運営の規律強化
- ②世界と伍する研究大学の形成に向けた専門人材の経営参画の推進等

## (7) 知識と知恵を得る初等中等教育の充実

- ①文理横断教育の推進  
（高校普通科改革等による文理横断的・探究的な教育の推進）
- ②課題発見・解決学習の充実  
（STEAM教育の充実、高い資質を有する教員の採用促進等）

## 2. 新たな時代に対応する学びの支援の充実

## (1) 大学後の所得に応じた「出世払い」を含む、教育費等への支援

- ①ライフイベント等も踏まえ、大学卒業後の所得に応じた「出世払い」を行う仕組みに向けた奨学金返還の在り方の見直し
- ②高等教育修学支援新制度の検証と改善の検討
- ③大学院生に対する支援の充実

## (2) 自治体や企業による奨学金の返還支援

- ①若者が抱える奨学金の返還を地方公共団体が支援する取組の推進
- ②企業による代理返還制度の活用推進

## (3) 早期からの幅広い情報提供

## 3. 学び直し（リカレント教育）を促進するための環境整備

## (1) 学び直し成果の適切な評価

- ①学修歴や必要とされる能力・学びの可視化等  
（個人の学修歴・職歴等に係るデータ基盤整備、ジョブ・カードの電子化、スキル標準・評価手法整備等）
- ②企業における学び直しの評価  
（計画的な人材育成、通年・中途採用等の促進等）
- ③学び直し成果を活用したキャリアアップ（就職・転職）の促進  
（学び直しと就職・転職支援とを併せて行う仕組み構築、兼業・副業の支援等）

## (2) 学ぶ意欲がある人への支援の充実や環境整備

- ①費用、時間等の問題を解決するための支援
- ②高齢世代の学び直しの促進

## (3) 女性の学び直しの支援

- ①女性の学び直しを促進するための環境整備
- ②女性の学び直しのためのプログラムの充実

## (4) 企業・教育機関・自治体等の連携による体制整備

- ①リカレント教育について産学官で対話、連携を促進するための場の設置
- ②企業におけるリカレント教育による人材育成の強化  
（受講する社員への経済支援、中小企業等の人材育成強化、企業と大学等の共同講座設置支援等）
- ③大学等におけるリカレント教育の強化  
（リカレント教育推進に向けた出資の促進等）
- ④地域におけるデジタル・グリーン分野等の人材育成